



イラン情勢分析

令和8年8月27日

駐イラン・イスラム共和国特命全権大使

塚田 玉樹

驚くべきことに、米国とイランの直接的な衝突がほぼ6カ月も続いた後でも、政権の高官たちはテヘランの思考プロセスを依然として理解していないように見えます。

米国当局者がイスラム共和国の崩壊や転覆について公に語れば語るほど、彼らは取引を求めているのではなく、体制の終焉を求めているという結論を強化するのです。

そして、イラン指導者たちが外交的な脱出路がないと信じるなら、彼らの動機は降伏することではありません。エスカレートすることです。

体制転換のレトリックはワシントンでは圧力と聞こえても、テヘランでは存亡をかけた紛争と聞こえます。これこそ、圧力を戦争に変える誤算の典型です。(Dennis Citrinowicz)

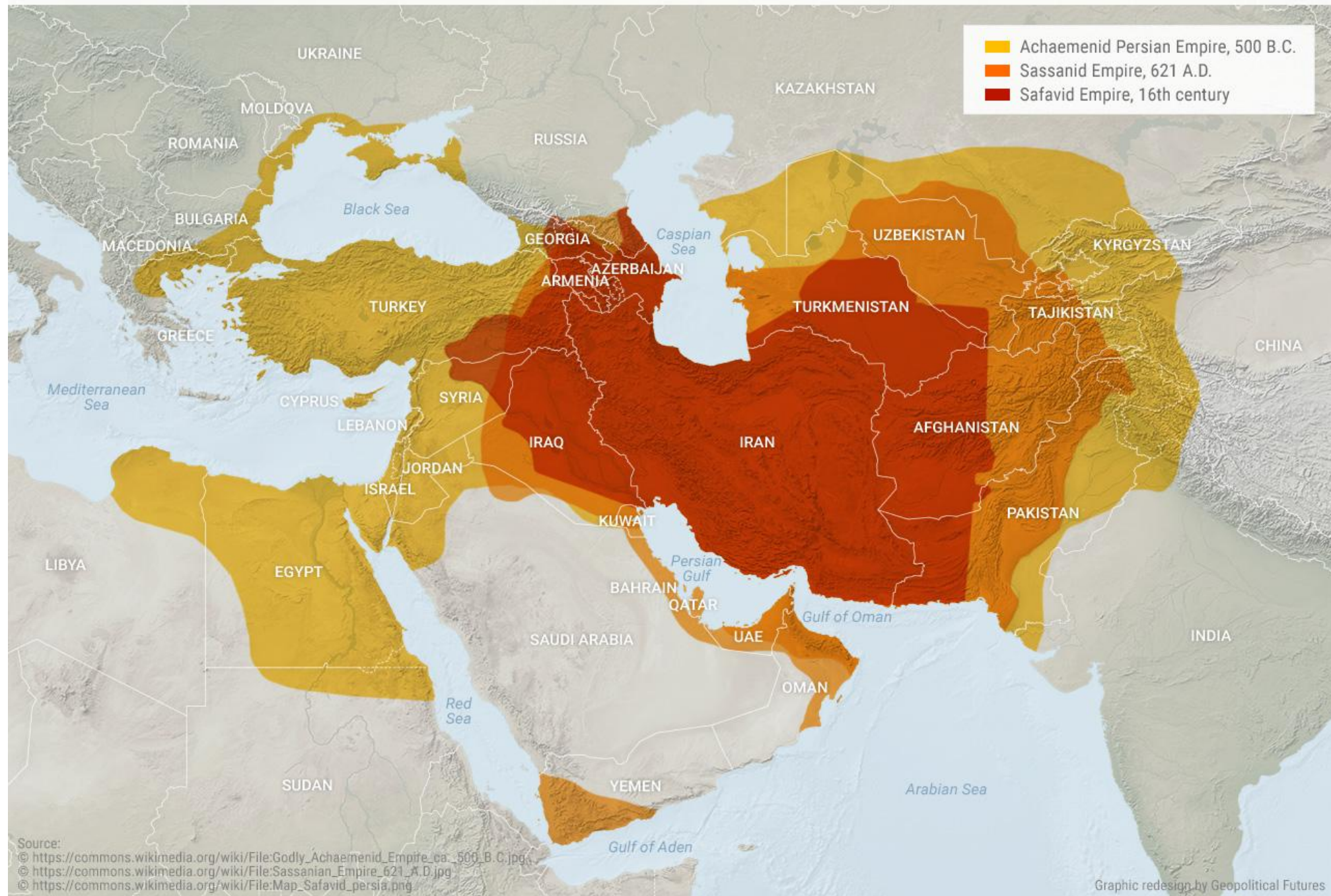


Railway and Iran's International Connections and Communication





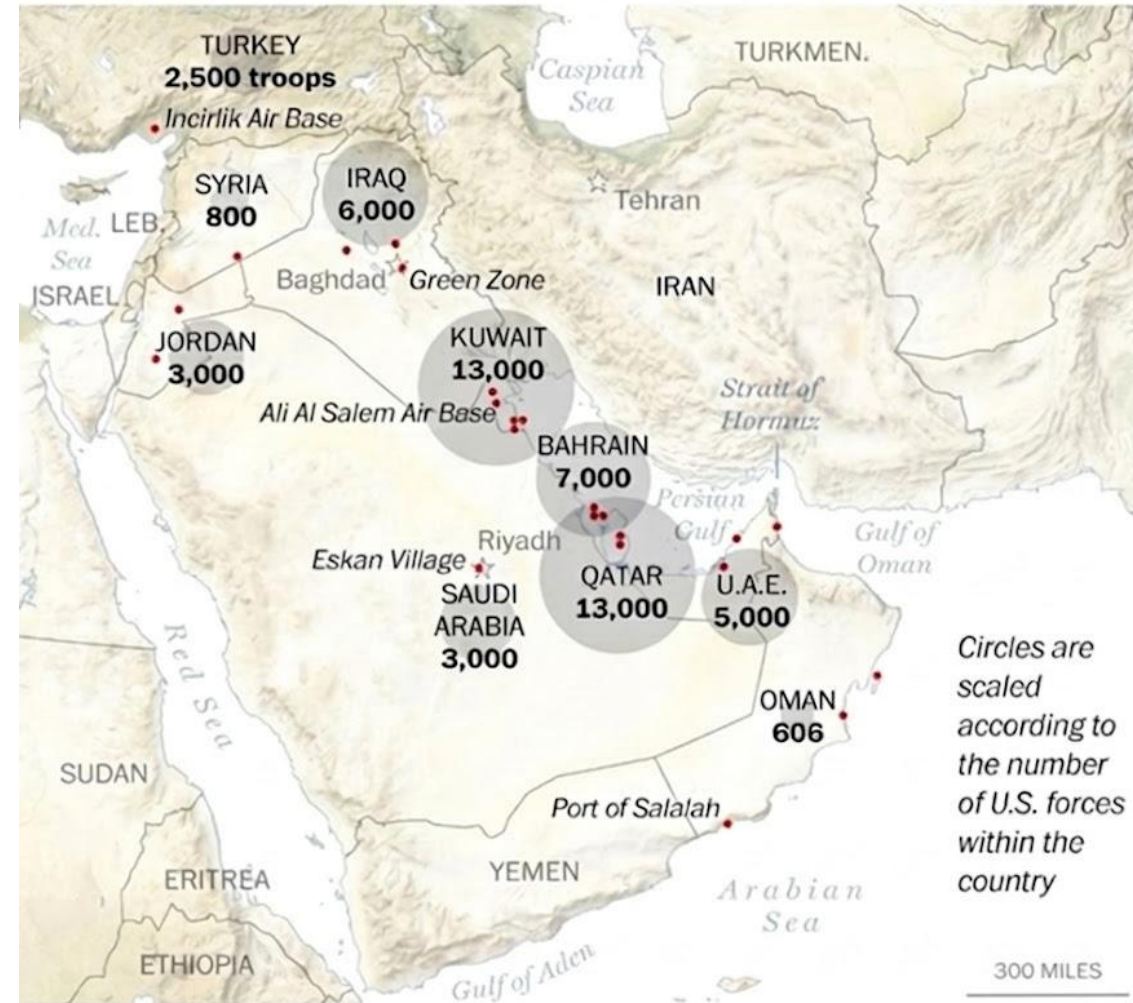
PERSIAN EMPIRES





The U.S. military footprint in the Middle East

- Bases, ports and other installations where U.S. troops are stationed or where U.S. military personnel pass through



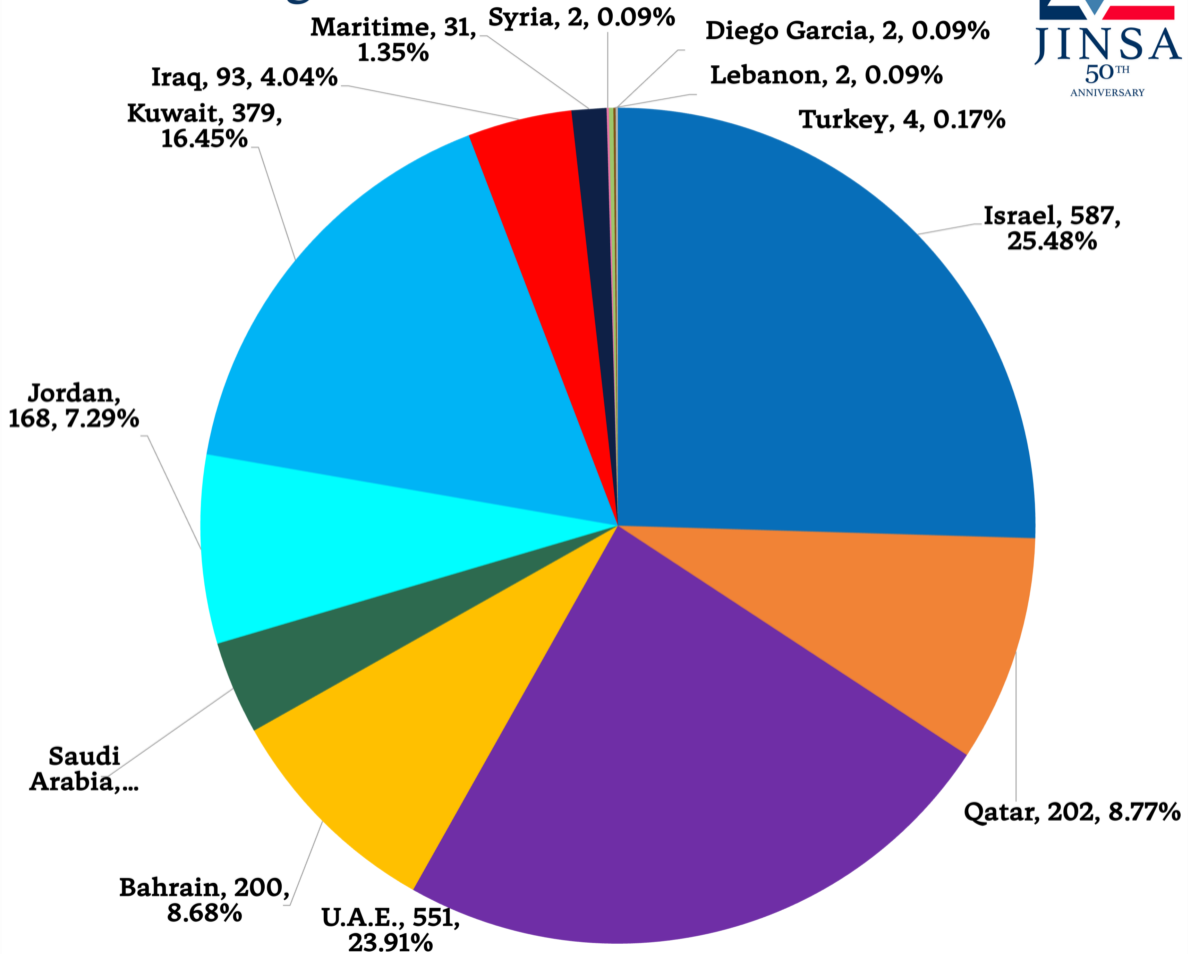
Note: Troop numbers are approximate. They do not reflect deployments in recent days and may fluctuate.

Sources: Federation of American Scientists, International Crisis Group

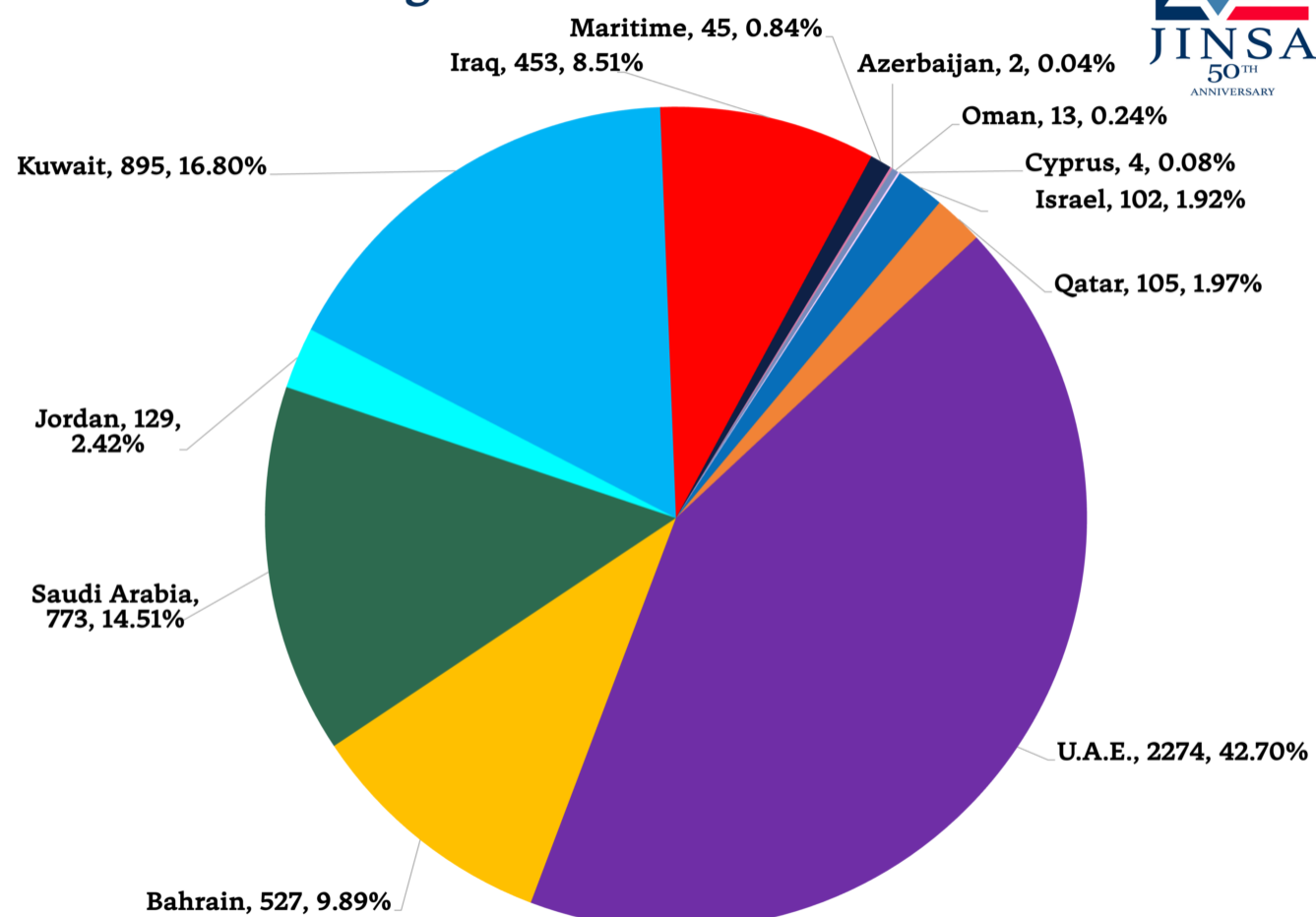
AARON STECKELBERG/THE WASHINGTON POST

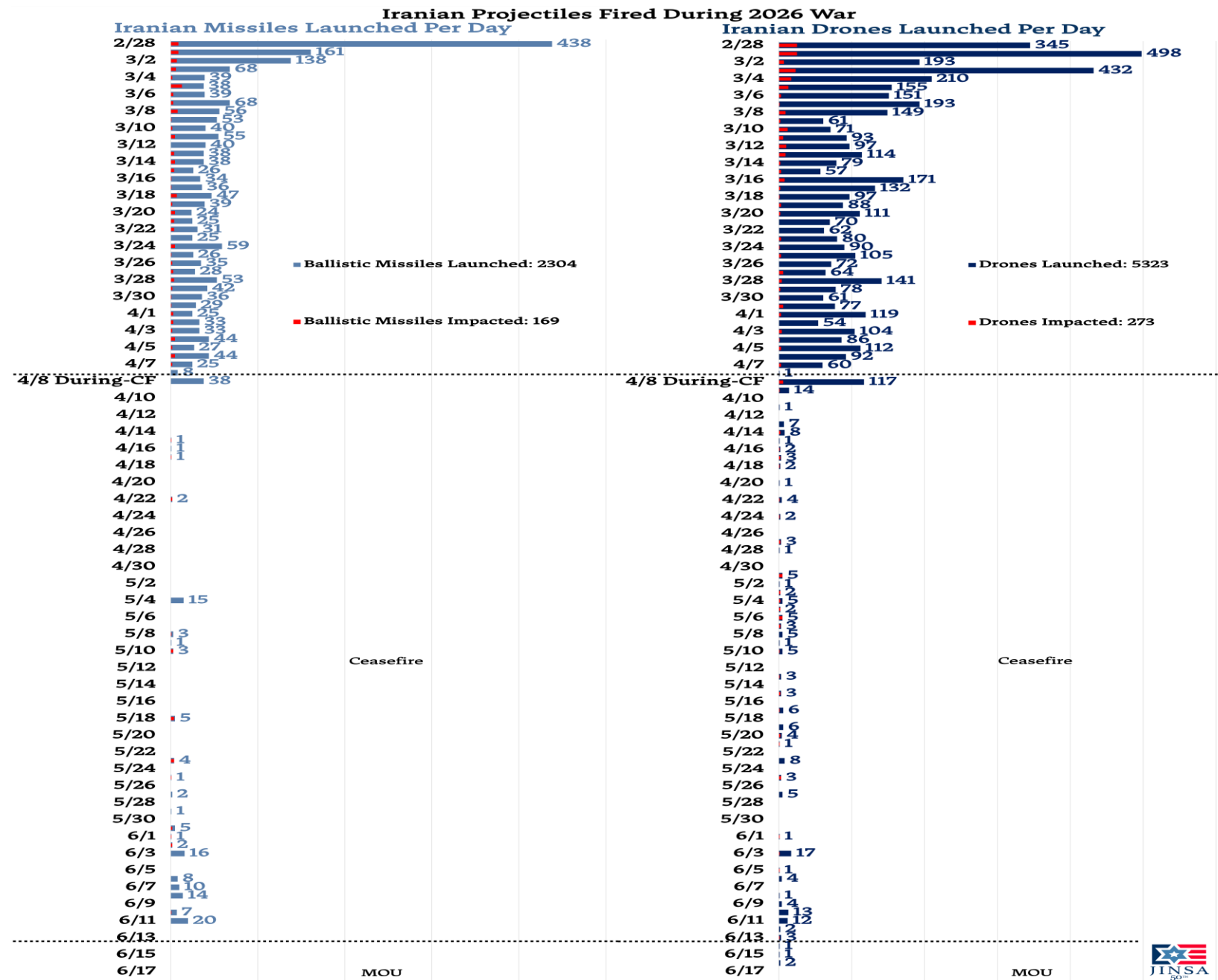


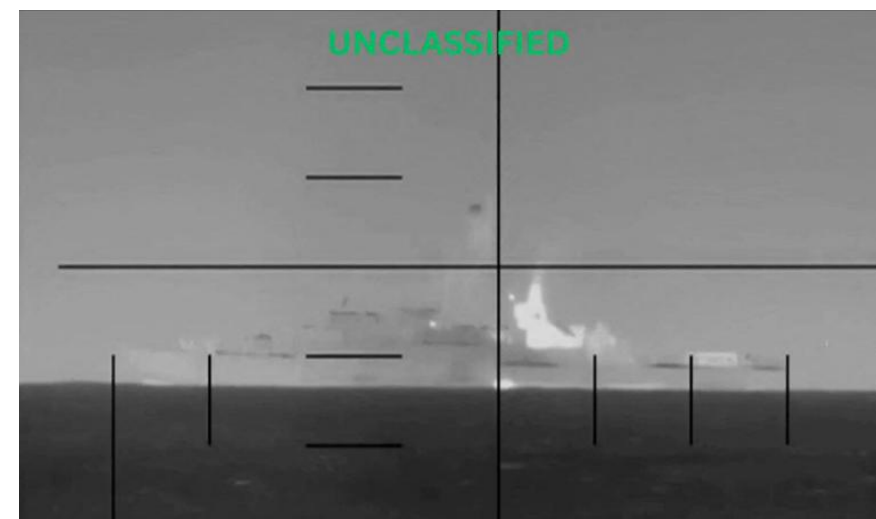
Targets of Iranian Ballistic Missiles



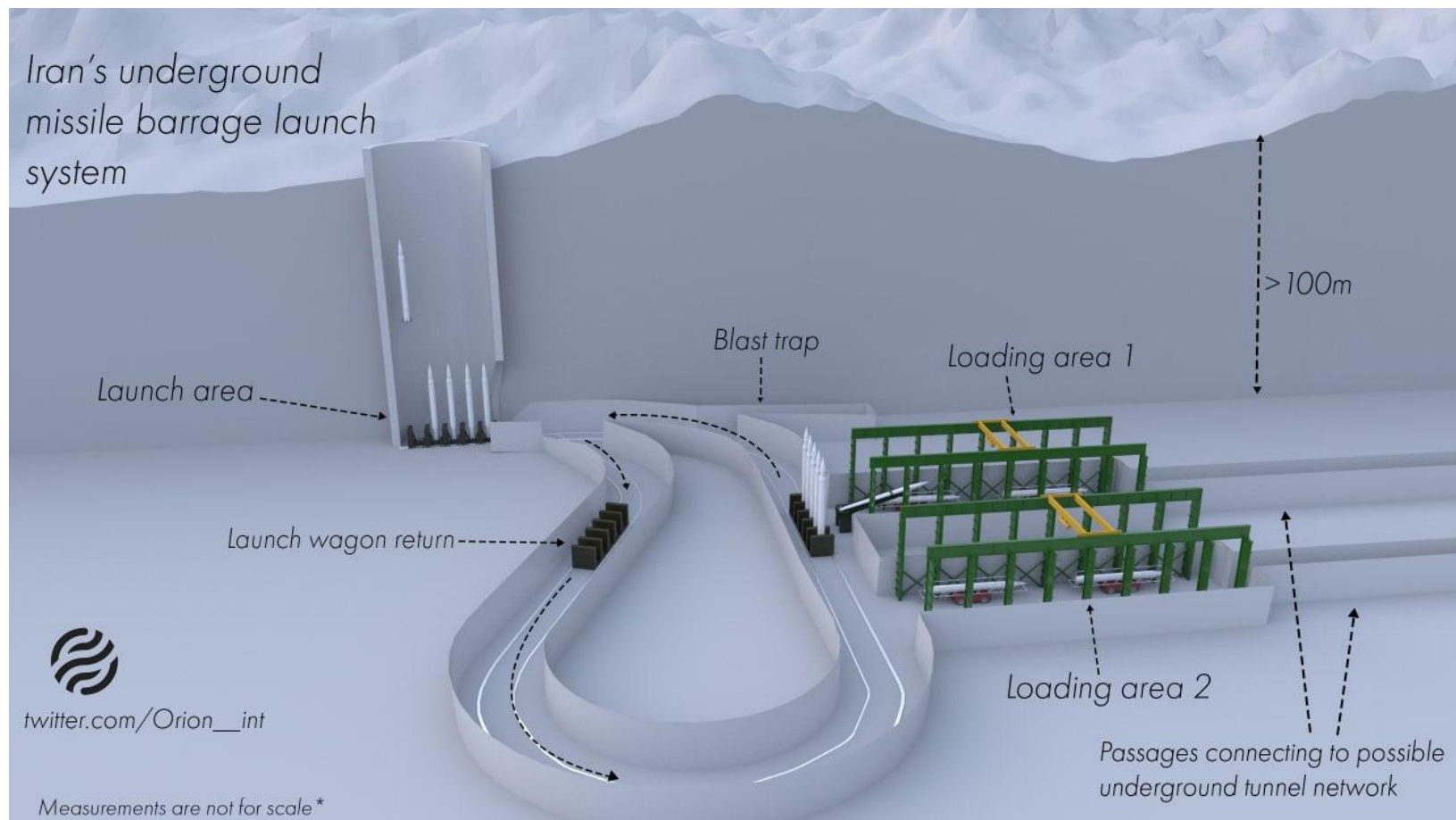
Targets of Iranian Drones











【参考】イランの地下ミサイル発射施設の概要

○2021年、イラン軍はホルムズガン州にある基地を拡張し、7基のサイロ型発射装置からなる発射施設を建設しました。衛星画像によると、各発射装置の直径は16メートルで、一度に数発（おそらく4～5発）の弾道ミサイルを発射できる能力を備えている。

○これらのサイロには保護用の蓋（ハッチ）は設けられていませんが、2つの山頂の間に位置するという立地条件が一定の防御効果をもたらしており、敵機による攻撃・命中を著しく困難にする。

○調査機関「Orion Intel」は、レールによる搬送機構、発射用シャフト、そして地下の弾道ミサイル準備エリアを含むトンネル施設の概略図を作成・公開している。



ホルムズ海峡開放の6条件

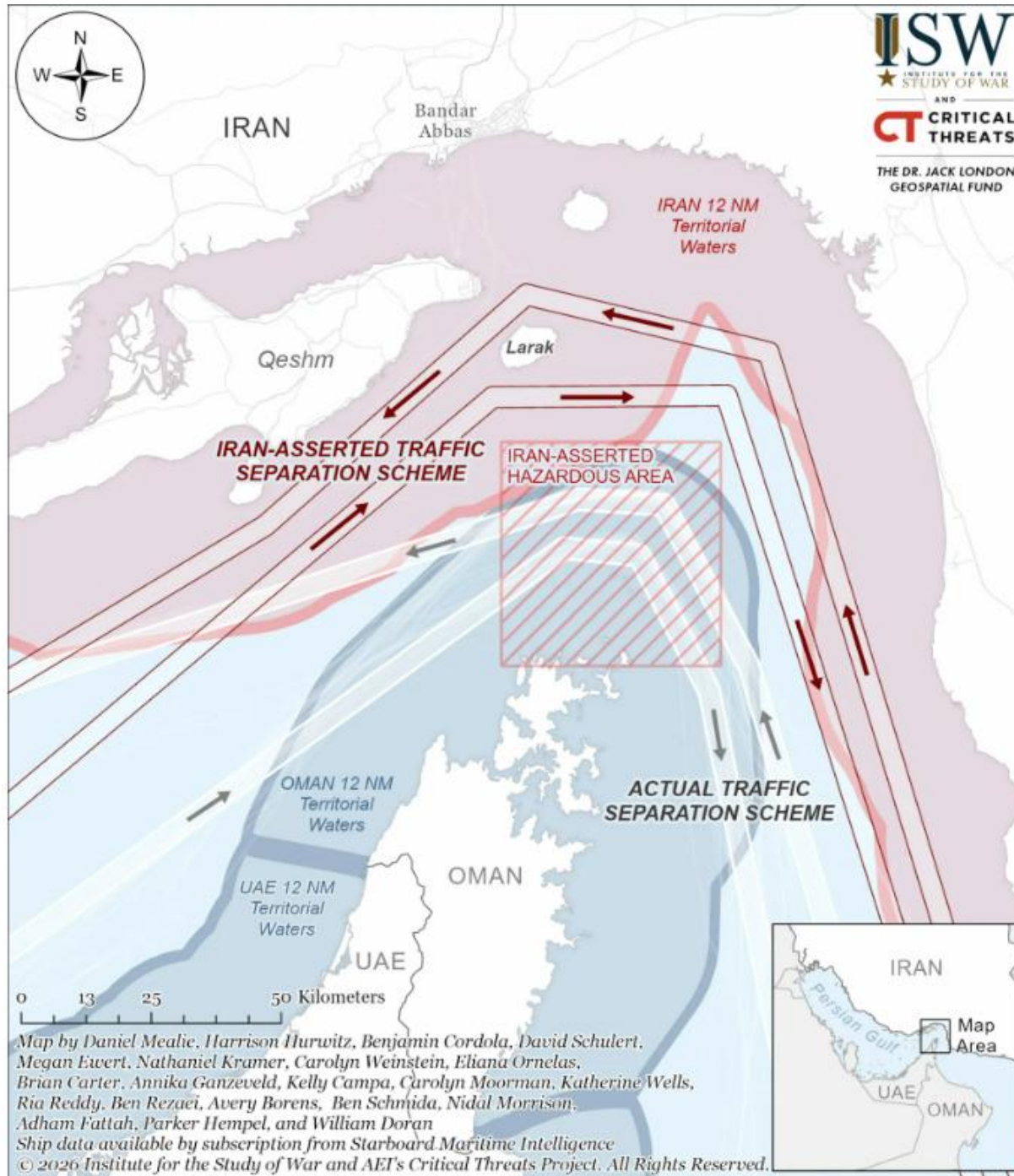
1. イランの国家および宗教的聖地に対する脅迫を含め、イランに対する脅迫や侮辱を停止すること。
2. イラン、ならびにレバノン、パレスチナ、イエメン、イラクにいるその同盟国に対する戦争と侵略を永久に停止すること。
3. 海上封鎖を解除し、海軍および空軍を含む米軍をイラン周辺から撤退させること。
4. 「2度の侵略・強制戦争」によって生じた損害について、イランに完全な賠償を行うこと。
5. イラン国民に科されたすべての「不当かつ違法な」制裁を解除すること。
6. 凍結・強奪されたイランの資産を無条件で返還すること。

5-Upon the signing of this MOU, the Islamic Republic of **Iran will make arrangements** using its best efforts for the safe passage of commercial vessels with no charge, for 60 days only, from the Persian Gulf to the Sea of Oman and vice versa.

The traffic of commercial vessels will immediately start, and considering the need for **removing** the technical and military obstacles, and **demining by** the Islamic Republic of **Iran** will be instated within 30 days.

The Islamic Republic of **Iran will conduct dialog with the Sultanate of Oman** to define the future administration and maritime services in the Strait of Hormuz **in discussion with other Persian Gulf littoral states** in line with the applicable international law and the sovereign rights of coastal states of the Strait of Hormuz.

Islamabad Memorandum of Understanding between the United States of America and the Islamic Republic of Iran.



How Americans view the US military campaign in Iran

■ Has achieved its goals ■ Has not achieved its goals

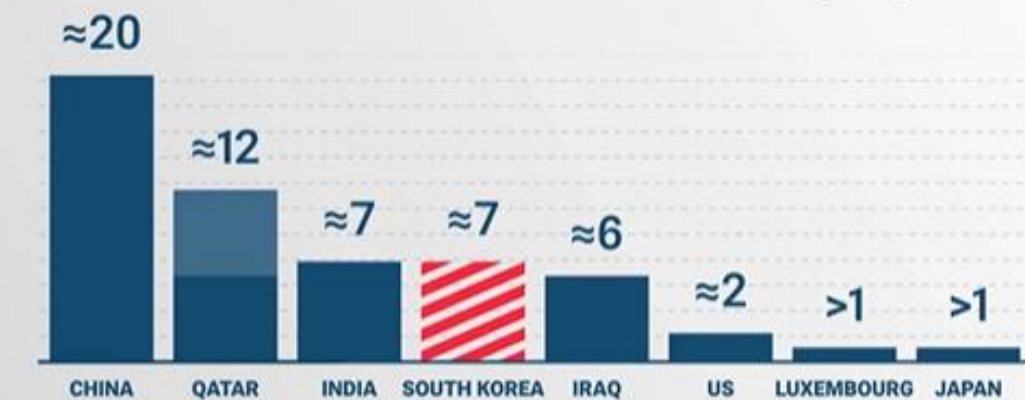


Latest poll conducted July 22-29, 2026, with 1,076 US adults. MoE ± 3.2 pts.

Chart: Eugenia Perozo/Semafor • Source: Marquette Law School Poll, national surveys

SEMAFOR

Value of Iran's frozen assets abroad (\$bn)



Source: El PAÍS

Value of Iran's frozen assets abroad (\$)



Source: ALJAZEERA - MEHR - El PAÍS



出典:メフル通信

食糧自給率（2023年）

(%)

160

140

120

100

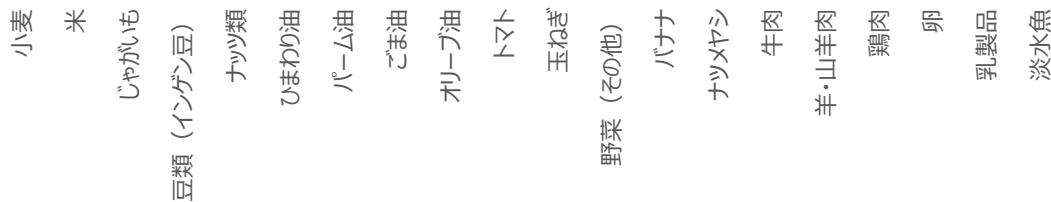
80

60

40

20

0



出典: 国際エネルギー機関(IEA)、国連食糧農業機関(FAO)

エネルギー生産量と消費量（2023年）

(TJ)

12,000,000

10,000,000

8,000,000

6,000,000

4,000,000

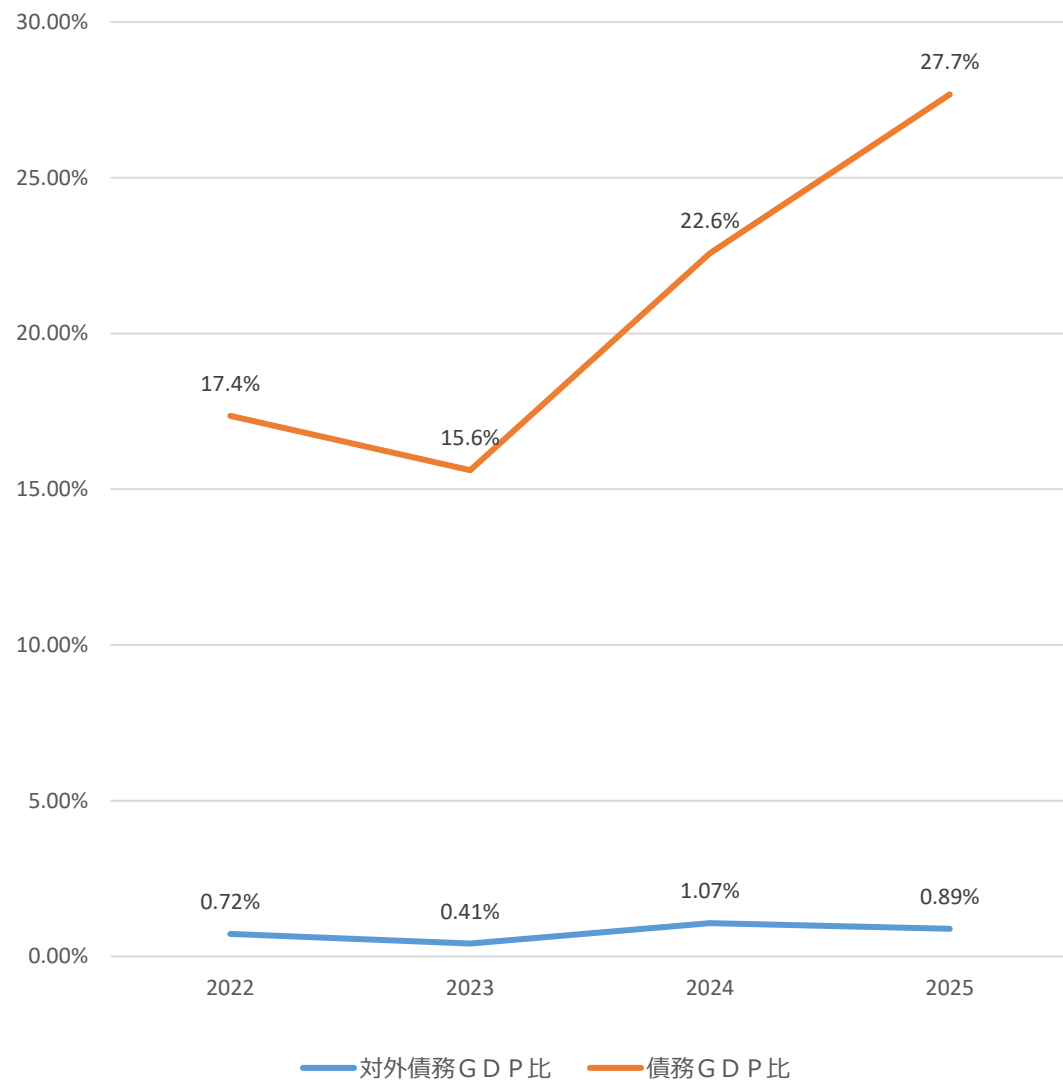
2,000,000

0

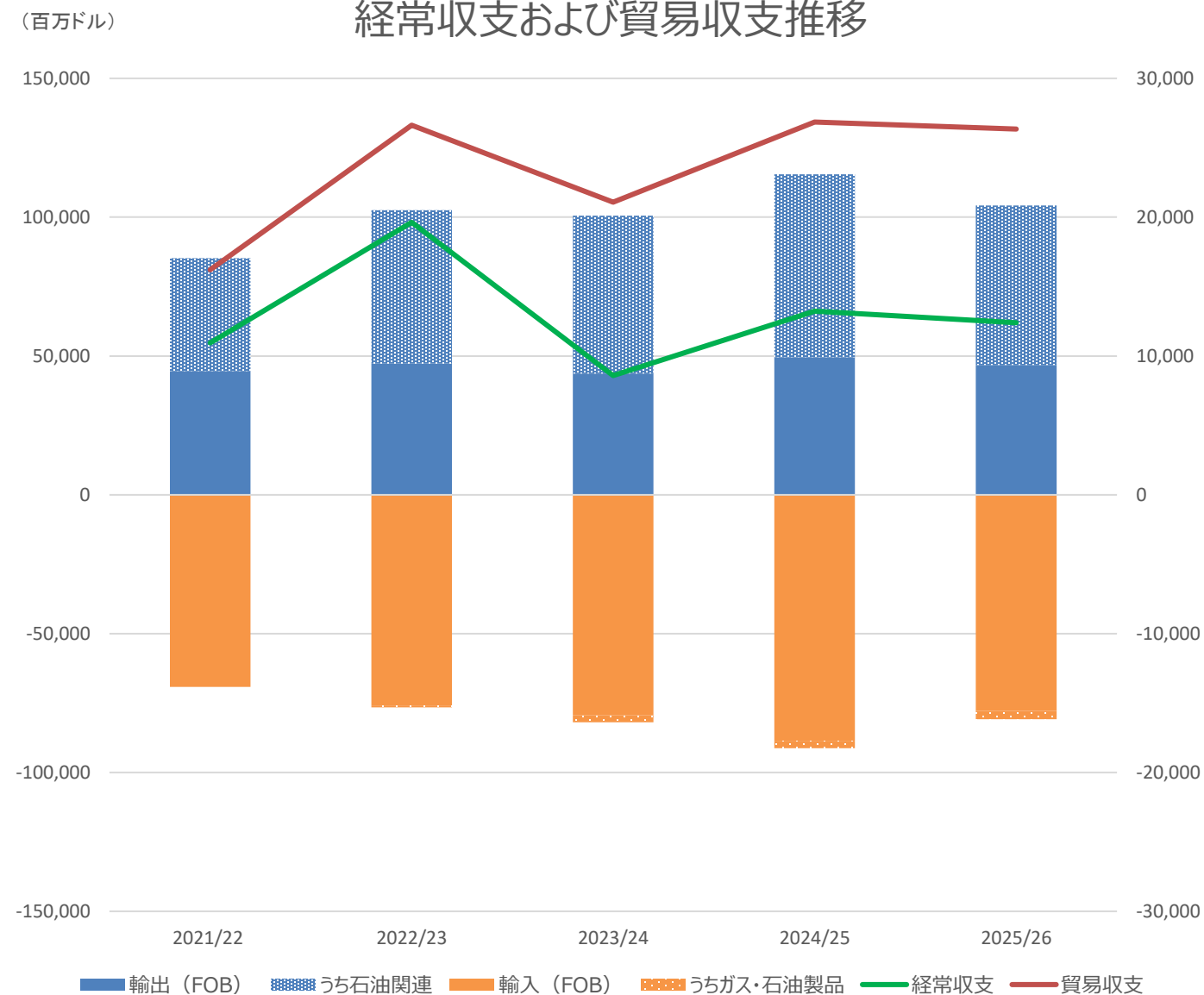


■ 生産 ■ 消費

債務対GDP比

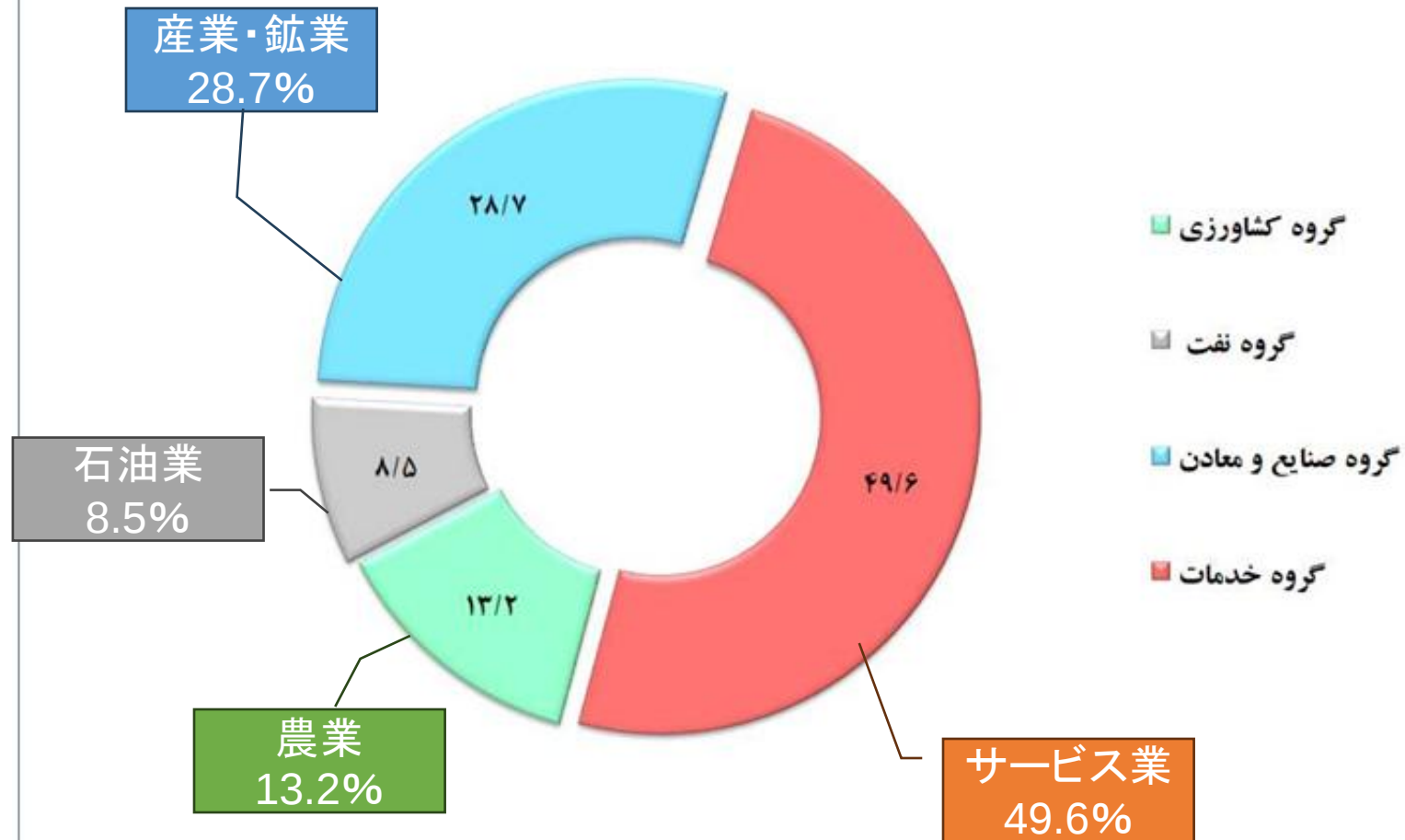


経常収支および貿易収支推移

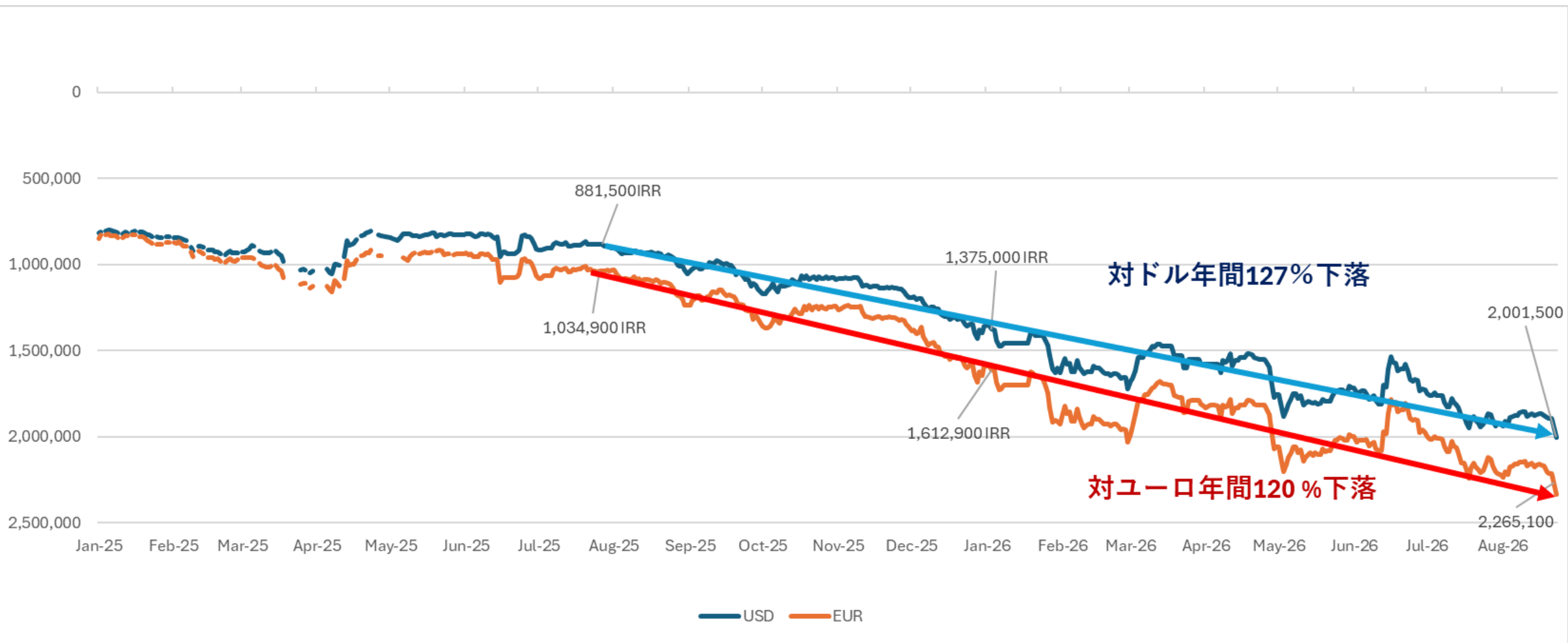


نمودار ۱- سهم گروه‌های اصلی از کل ارزش افزوده در سال ۱۴۰۲ (درصد)

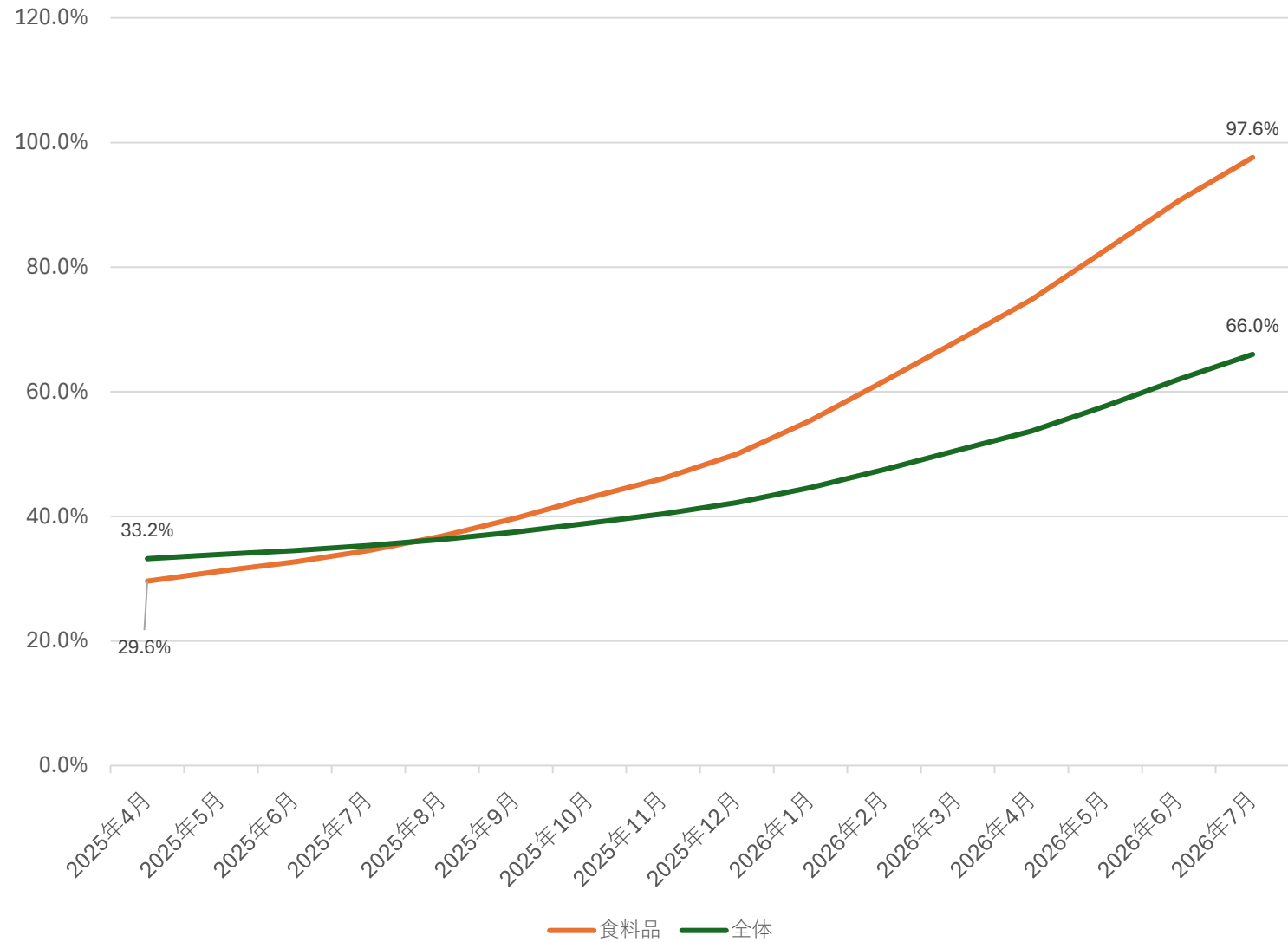
1402年(2023年)部門別GDP



イラン・リアル（IRR）為替レート



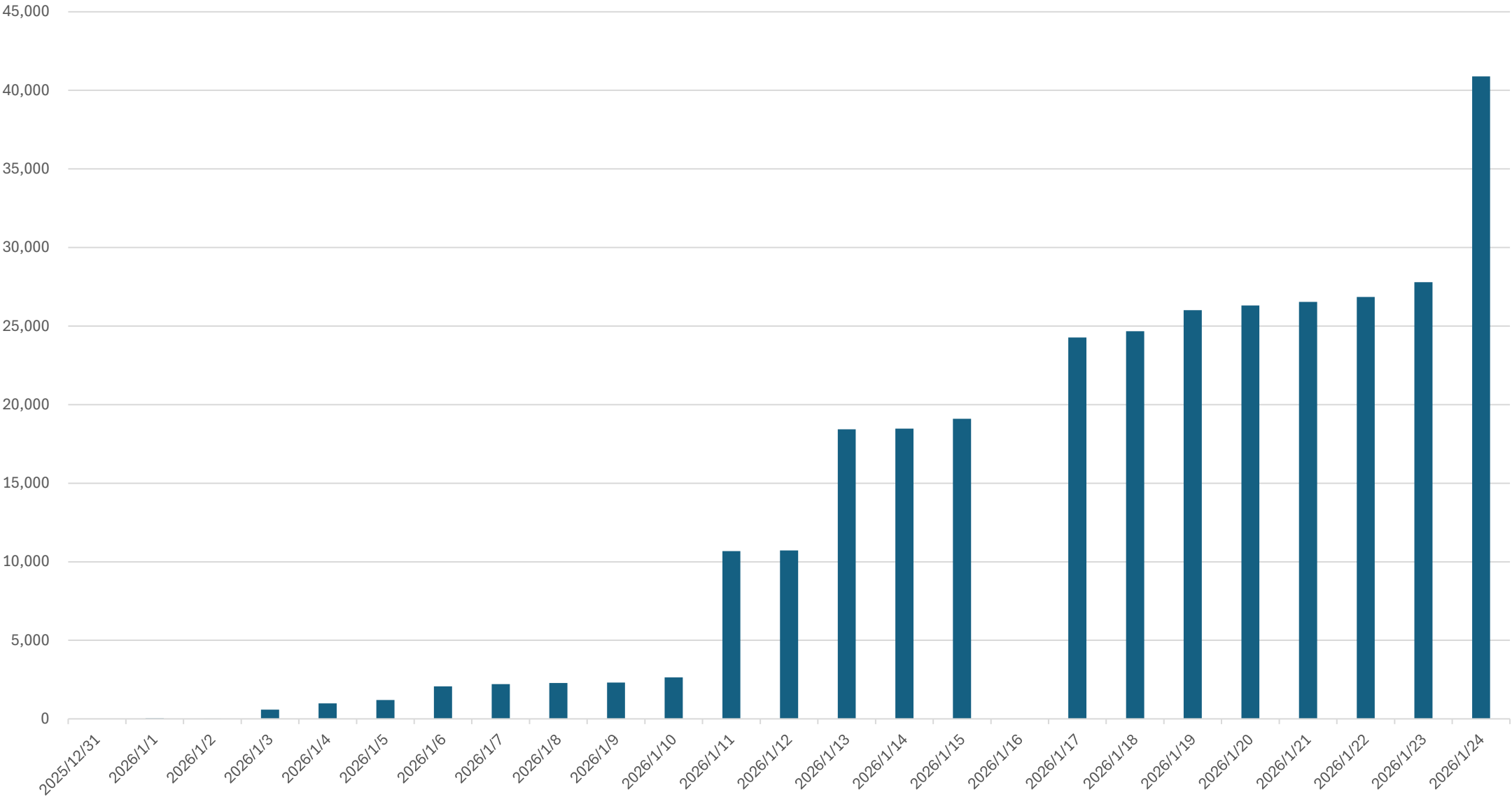
年間平均インフレ率 (%)





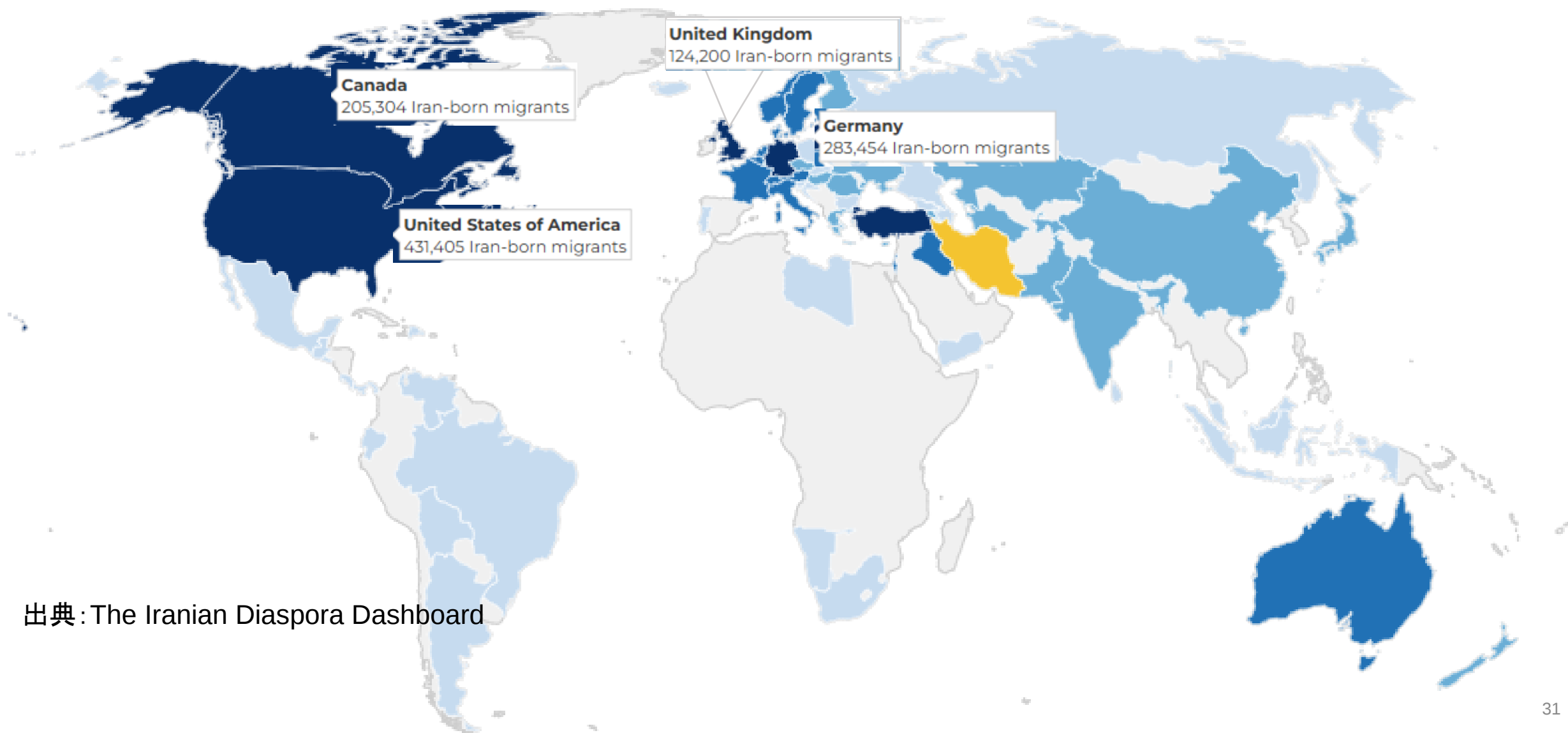


2026年1月の逮捕者数推移



Iranian Migrant Stock Worldwide (2024)

Iran 1 – 1,000 1,000 – 10,000 10,000 – 100,000 100,000 – 450,000 No data



出典: The Iranian Diaspora Dashboard





モジュタバ・ハメネイ最高指導者（国軍最高司令官）（56歳）

※緑は革命ガード出身の職業軍人

故ラリジャーニ
SNSC書記



国家安全保障最高評議会(SNSC)

レザイーSNSC書記
兼最高指導者名代
(元革命ガード総司令官)

軍部

革命ガード・
正規軍

行政権

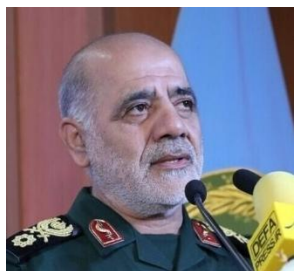
ペゼシュキアン大統領（71歳）
(任期4年)

立法権

(国会)
ガリバーフ国会議長（64歳）
(290名・任期4年)

司法権

エジェイ司法権長（69歳）
(任期5年)



アブドラヒ少将
(統合参謀本部長)



ヴァヒーディ少将
(革命ガード総司令官)



ペゼシュキアン大統領(SNSC議長)



ガリバーフ国会議長
(米国との交渉責任者)



エジェイ司法権長



ハタミ少将
(正規軍総司令官)



アラグチ外相



故ハティーブ情報相

<まとめ>

- ①イラン体制は軍事色をより強くし、軍事的抗湛性は増した。従来の自制戦略が見直されている可能性
- ②経済制裁や軍事的圧力でホルムズや核に関する政策変更を強要することは不可能
- ③外交路線への復帰が、イラン側の柔軟派の正統性を高め妥協を引き出す唯一の活路。
- ④ホルムズ開放と凍結資産の一部解除というクイックフィックスが信頼醸成の第一歩
- ⑤現在は国民の怒りより恐怖が大。体制転換を促す可能性は現時点では小。ただし今後 1 年ぐらいのフレームで国民不満が再爆発の可能性
- ⑥メッカ協定はイランと湾岸諸国との間の新たな関係構築を促す可能性